



第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳(北海道様似町)大会

分科会募集要項

1 ご案内

分科会は、以下の8分科会を設定して実施いたします。参加を希望される分科会をお選びください。定員制により先着順となりますので、あらかじめご承知ください。なお、申込状況により定員が変更となる場合があります。

2 分科会日程

10月6日(土) 14:00~16:00・7日(日) 9:30~12:00

※分科会参加者は7日の昼食も合わせてお申込みをお願いいたします(分科会終了後、会場で昼食(弁当)をとっていただいた後、主会場に移動予定です)。

3 分科会概要

分科会1 防災・減災

(洞爺湖有珠山 UGGp でのプレ巡検と連動)

分科会 No	1
分科会名	ジオパークが担う普段の減災・防災活動って何？
キーワード	減災*、防災*、減災教育、教育旅行
参加想定者	ジオパークスタッフ、教育関係者、ガイド、専門員
会場	様似小学校 体育館
企画・運営	洞爺湖有珠山ジオパーク
定員	80人
概要	<p>近年、ユネスコ世界ジオパークにおいても、自然(地質)災害に対するリスク軽減のための活動が審査項目として明示されましたが、日本のジオパークにおける実践は国際的に注目されています。本分科会では、<u>ジオパークだからこそできる減災・防災についての手法を共有し、世界にさきがけて10年後の将来および2030年*を見据えた活動のあり方を考えます。</u></p> <p>*2030年：SDGs(持続可能な開発目標)達成年</p> <p>【10月6日(土)】</p> <p>コーディネーター：加賀谷にれ(洞爺湖有珠山)、大野希一(島原半島)</p> <p>14:00~14:05 挨拶、趣旨説明(加賀谷・大野)</p> <p>14:05~14:15 洞爺湖有珠山プレツアアの概要(中谷)</p> <p>14:15~15:05 事例発表</p> <p>霧島ジオパーク(坂之上)</p>



	<p>栗駒山麓ジオパーク（佐藤） 阿蘇ジオパーク（石松） 南紀熊野ジオパーク（仲江） 伊豆大島ジオパーク（臼井）</p> <p>15:05～15:20 コーヒーブレイク 15:20～15:50 ミニグループワーク「ジオパークと減災・防災」 15:50～16:00 まとめ（加賀谷・大野）</p> <p>【10月7日（日）】 コーディネーター：横山 光（北翔大学／洞爺湖有珠山）、加賀谷にれ（洞爺湖有珠山）</p> <p>9:30～ 9:40 挨拶、趣旨説明、これまでの流れ（加賀谷） 9:40～10:30 グループワーク「減災教育」（横山）</p> <p>* 減災といえば誰もが思いつくのが市民や子ども達への「教育」ですが、将来どんな地域にするための教育なのか、どこまでやるのか、ビジョンやゴールを設定していますか？ここでは、これからの10年および2030年の地域の理想像を考えて、それを実現するための教育普及的なアプローチを、グループで考えます。</p> <p>10:30～10:45 コーヒーブレイク 10:45～11:45 グループワーク「減災のための第一歩」（横山）</p> <p>* 教育普及活動以外で、減災・防災の活動を進めようとする、防災に関わる組織間の隔たりや、組織内部の縦割りの問題にぶつかるのが常ですが、そこで諦めていませんか？縦割りを乗り越えるために何をすべきなのか、もしくは、縦割り組織のなかでも何ができるのかについて意見交換をします。そして将来、地域で起こりうる災害を想定し、これからの10年および2030年までに、「ジオパークだからこその備え」について、グループで考えます。</p> <p>11:45～12:00 まとめ（横山・加賀谷） 12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）</p>
摘要	<p>本分科会は、洞爺湖有珠山UGGpで行うプレ巡検「減災文化と火山の恵み～秋の有珠山満喫ツアー～」と連動しています。全員参加が前提ではありませんが、本分科会へ参加される方は、同ツアーへの参加もご検討ください。</p>

分科会 2 人の暮らしとジオ

（白滝 Gp でのプレ巡検と連動）

分科会 No	2
分科会名	人の暮らしとジオを考える



キ ー ワ ー ド	人類の資源利用、黒曜石、価値の伝え方、ジオストーリー
参 加 想 定 者	ガイド、一般参加者
会 場	様似町保健福祉センター
企 画 ・ 運 営	白滝ジオパーク、橋詰潤（新潟県立博物館）、黒曜石ネットワーク
定 員	50人
概 要	<p>本分科会は、第8回男鹿半島・大潟大会にて開催された分科会です。前大会では、「黒曜石で人と地球の活動を繋ぐ」をテーマに、白滝・隠岐・姫島の黒曜石産地を抱えるジオパークより事例発表を行い、「人の暮らしと地球を守るためにその価値を伝える」というキーワードを参加者とともに作り上げました。</p> <p>今回は、どのように「その価値を伝えていくのか」をテーマに、引き続き黒曜石を中心としたフィールドワークと座学を行います。現地や座学での意見交換を通して、地球が生み出した資源と上手に付き合っていくには、何に価値を見出し何を伝えていけばよいのかを、参加者とともに探ります。</p> <p>コーディネーター：橋詰潤（新潟県立博物館）、熊谷誠、佐野恭平（白滝） 黒曜石ネットワークメンバー</p> <p>【10月6日（土）】</p> <p>14:00～14:15 挨拶、趣旨説明（橋詰） 14:15～15:15 講演「演題未定」 講演：木村英明（白滝）</p> <p>* 黒曜石から語るができる人と資源のつながりを、長年にわたりシベリアの遺跡研究に携わってこられた木村英明氏よりご講演いただき、世界的な視野から人類が形成した黒曜石のネットワークについて学びます。</p> <p>15:15～15:30 コーヒーブレイク 15:30～16:00 意見交換（橋詰、熊谷、佐野）</p> <p>【10月7日（日）】</p> <p>9:30～ 9:40 挨拶、趣旨説明、これまでの流れ（熊谷） 9:40～11:30 ポスターセッション&ワールドカフェ</p> <p>* 黒曜石だけでなく、地球が生み出した資源と人の暮らしの関わりをツアーや教育の現場でどのように伝えているか、各地域より発表していただきます。また、参加者と発表者の距離を縮め、より活発な意見交換ができるよう、事例発表形式ではなくポスターセッション&ワールドカフェ方式での発表と意見交換を行います。</p> <p>合間にコーヒーブレイクをはさみながら、初めて参加した方でも思いのまま意見の交わし合いができる場づくりを目指します。</p> <p>11:30～12:00 まとめ（橋詰、熊谷、佐野、黒曜石ネットワークメンバー）</p>



	12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）
摘 要	本分科会は、白滝Gpで行うプレ巡検「KON-SAI（昆虫祭・根菜）ジオツアー in 丸瀬布」と連動しています。全員参加が前提ではありませんが、本分科会へ参加される方は、同ツアーへの参加もご検討ください。

分科会 3 教育

（三笠 Gp でのプレ巡検と連動）

分 科 会 №	3
分 科 会 名	学びが生み出す地域の未来づくり
キ ー ワ ー ド	教育セッション
参 加 想 定 者	教育に興味のある人
会 場	東様似生活館
企 画 ・ 運 営	三笠ジオパーク、教育 WG
定 員	60 人
概 要	<p>この分科会は、ESD(持続可能な開発のための教育) やコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度) など、地域で実施されている様々な教育活動について、学び・再認識・振り返りを行い、学びが生み出す地域の未来づくりを考えるきっかけとして、ジオパークは地域(社会)にどのように貢献できるのか・ジオパークにおける未来づくりとは・持続可能な社会づくり/人づくりとは・などについて、講演やワークショップなどを通じ、参加者同士が意見交換等を行い、各地域へ持ち帰り実践を行うための場づくりとするものです。</p> <p>【10月6日(土)】</p> <p>ファシリテーター：松田剛史氏(元教員。ESD を地域で実践する NPO「ソーシャルベンチャーあんじょう家本舗」で ESD 実践活動を推進。</p> <p>14:00～14:15 趣旨説明及び三笠 Gp プレ巡検報告</p> <p>14:15～14:45 講演～ESD について</p> <p>14:45～15:00 コーヒーブレイク</p> <p>15:00～15:30 講演～地域におけるコミュニティ・スクールについて</p> <p>15:30～16:00 意見交換、翌日のアナウンス</p> <p>【10月7日(日)】</p> <p>9:30～ 9:40 昨日の振り返り</p> <p>9:40～10:30 ワールドカフェ(グループディスカッション)</p> <p>10:30～10:45 コーヒーブレイク</p> <p>10:45～11:40 ワールドカフェ(続き)</p>



	11:40～12:00 全体振り返り、総括 12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）
摘 要	本分科会は、三笠Gpで行うプレ巡検「さあ行こう！1億年時間旅行へ！」と連動しています。全員参加が前提ではありませんが、本分科会へ参加される方は、同ツアーへの参加もご検討ください。

※本事業は、文部科学省のジオパークを活用した ESD-SDGs 学校教育推進モデル・教育旅行推進モデル開発事業の一環で開催しています。

分科会 4 ガイド

（とかち鹿追Gpでのプレ巡検と連動）

分科会 No	4
分科会名	「備えあれば憂いなし!？」ガイドツアーのリスクマネジメント － リスクを味方につけるガイドのコツ －
キーワード	ジオガイド、ジオツアー、安全管理、リスクマネジメント
参加想定者	ジオパークガイド
会場	様似中学校 体育館
企画・運営	とかち鹿追ジオパーク、ガイドWG
定員	100人
概要	<p>全国のジオパークでは、これまでにない新しいツーリズムを生み出すために、ツアーの企画・催行や学習旅行の誘致・受け入れなど、ゼロから始めて積み上げてきたところが少なくありません。</p> <p>本分科会では、ツアー・視察を案内する者にとって基礎となる「利用者の安全管理」について、全国のジオパークで実践されてきた経験や、ジオパーク以前からガイドとして自然を案内してきた者の経験を共有し、自分の地域に置き換え、今一度安全管理の体制や方法について振り返る機会とします。</p> <p>参加者にはもれなく、全国 GP ヒヤリハット事例集をプレゼント！</p> <p>【10月6日（土）】</p> <p>14:00～14:10 挨拶・趣旨説明 14:10～14:20 とかち鹿追プレツアーの概要説明 14:20～16:00 情報の共有と事例検討（途中コーヒープレイク有）</p> <p>本大会までに実施予定である、各ジオパーク推進協議会及びガイド団体への「ツアー催行中に発生・遭遇したアクシデント・インシデント・ヒヤリハットに関する事例照会」の結果を基に、ツアー催行中に遭遇した事故やヒヤリハットについて情報を共有し、その中の特徴的な事例についてケーススタディを行います。</p>



	<p>【10月7日（日）】</p> <p>9:30～ 9:40 昨日の振り返り</p> <p>9:40～11:20 グループワーク 「これからの安全管理」</p> <p>ツアー参加者の年代や人数規模、山道トレッキングや町中散歩などシチュエーション毎にグループに分かれて必要な安全管理について考えます。</p> <p>（途中、コーヒーブレイクを挟みます）</p> <p>11:20～12:00 発表・まとめ</p> <p>12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）</p>
摘 要	<p>本分科会は、とがち鹿追Gpで行うプレ巡検「プロガイドと歩く「風穴の森」トレッキングツアー」と連動しています。全員参加が前提ではありませんが、本分科会へ参加される方は、同ツアーへの参加もご検討ください。</p>

分科会 5 保全

分 科 会 №	5
分 科 会 名	無形文化財の伝承と活用をジオパークで考える～アイヌ文化を例に～
キ ー ワ ー ド	無形文化財、アイヌ文化、伝承、活用、地名
参 加 想 定 者	ジオパーク活動のなかでの無形文化財の伝承や活用に関心がある方
会 場	様似町幼児センター ホール
企 画 ・ 運 営	保全WG、アポイ岳ジオパーク
定 員	45人（バス移動あり）
概 要	<p>演劇や音楽、工芸技術などの無形文化財は、それぞれの地域で育まれてきたものであり、その成立の背景には、それぞれの地域の自然環境とそこで暮らしてきた人たちの文化の積み重ねがあります。こうした関係性を可視化し、それをジオパーク活動の中にどのように位置づけ、いかに次世代へ伝承していくかを私たちは考えていかなければなりません。様似に伝わるアイヌ古式舞踊は、国重要無形文化財、ユネスコ無形文化財に指定、登録されて、踊りや楽器、伝統料理などの伝承、保存活動をすすめて行かなければなりません。また、北海道の地名は、アイヌ語が語源であり、その由来を伝えていく必要があります。こうした無形の文化財の伝承や活用の実際について、座学と見学会で学び、ジオパークにおける文化多様性の意味や、ジオパークを利用した伝承や活用の方法について考えていきます（班討論）。</p> <p>【10月6日（土）】</p> <p>13:30～15:00 アイヌ語地名巡り</p> <p>アポイ岳ジオパークには、アイヌ語に由来する地名が数多く残っているので、いくつかのジオサイトをバスで巡り、アイヌ語地名の解説や地形にちなむ伝説を紹介します。</p> <p>15:00～15:15 趣旨説明</p>



	<p>15:15～16:00 アイヌ文化に関する講義</p> <p>【10月7日（日）】</p> <p>9:30～10:15 無形文化財の保存と活用に関する事例報告 (いくつかのジオパークから)</p> <p>10:15～10:30 コーヒーブレイク</p> <p>10:30～12:00 グループワーク</p> <p>12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）</p>
--	--

分科会 6 ユニバーサルデザイン

(洞爺湖有珠山 UGGp でのプレ巡検と連動)

分 科 会 №	6
分 科 会 名	自然災害とユニバーサルデザイン ～すべての人が心地よく過ごせるジオパークを目指して～
キ ー ワ ー ド	
参 加 想 定 者	ジオパーク関係者・UDに興味にある方
会 場	様似小学校 フリースペース
企 画 ・ 運 営	ユニバーサルデザイン WG
定 員	30 人
概 要	<p>ジオパークの多くは地球活動が活発な地域に存在します。美しい風景や地域の特性を育む地球活動は、時には人に対し地震や津波、火山噴火、斜面災害などの形で様々なリスクをもたらします。健常者から障がい者、お年寄りから子供、外国人と多様な人が、住人、訪問者など多様な立場で関わるジオパークでは、多様な自然災害に対して柔軟に対応することが求められます。また、自然災害に対する知識レベルの差も、自然災害への対応を困難にしています。一方で、地球活動はそこに住む全住民へ影響を与え続けており、地域住民は多様な人がそこで心地よく生活できる知恵や工夫を長い年月の中で築きあげてきました。本分科会では、「住む人の目線」「受け入れる人の視点」「訪れる人の視点」から、ひとが自然災害とどう向き合っていくべきか、ユニバーサルデザインの観点から議論します。</p> <p>4 日は洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパークで行われる防災分科会の現地見学に同行し、現場でディスカッションします。</p> <p>【10月6日（土）】</p> <p>14:00～14:10 趣旨説明</p> <p>14:10～14:30 洞爺湖有珠山プレツアアの概要報告</p> <p>14:30～16:00 ワークショップ（途中、コーヒーブレイクあり）</p> <p>【10月7日（日）】</p> <p>9:30～12:00 前日に引き続きワークショップ</p>



	(途中、コーヒーブレイクあり) 12:00~12:30 昼食(分科会会場でお弁当)
摘要	本分科会は、洞爺湖有珠山UGGpで行うプレ巡検「減災文化と火山の恵み〜秋の有珠山満喫ツアー〜」と連動しています。全員参加が前提ではありませんが、本分科会へ参加される方は、同ツアーへの参加もご検討ください。

分科会 7 リーダーセッション

分科会 No	7
分科会名	Discussion with Prof. Nickolas ZOUROS・坂下様似町長によるミニ巡検
キーワード	ジオパークのマネジメント、ジオパークのリーダー
参加想定者	推進協議会会長、事務局長、実質的に活動を牽引している人、GGN 関係者
会場	様似町役場 2階大会議室
企画・運営	目代邦康(日本ジオサービス株式会社)
定員	6日ディスカッション: 70人、7日ミニ巡検: 45人
概要	<p>ジオパークの活動の質を向上させるためには、リーダーが高い目標を持ち活動を牽引していかなければなりません。そのためには、リーダーがジオパークの基本理念を深く理解する必要があります。世界ジオパークネットワーク会長であり、ギリシャ・エーゲ大学教授のニコラス・ゾウロス博士と意見交換をし、ジオパークにおけるリーダーの役割やマネジメントのあり方について考えます。(参加を申し込まれた方の中から何名かの方に発表をお願いすることがあります。)</p> <p>【10月6日(土)】 14:00~14:30 ニコラス・ゾウロス博士の講演 14:30~14:45 質疑応答 14:45~15:10 日本のジオパークでの実践報告(2~3件) 15:10~16:00 実践報告に対するコメントと議論</p> <p>【10月7日(日)】 10:00~12:00 アポイ岳ジオパークのミニ巡検(坂下町長案内)</p>
摘要	7日は、坂下様似町長がアポイ岳ジオパークをご案内するミニ巡検ですが、6日のディスカッションとは連動しません。参加希望者は、分科会申込みの際にあわせてお申し込み下さい。

分科会 8 SDGs (持続可能な開発目標)

分科会 No	8
分科会名	SDGs から考えるジオパークと持続可能な社会
キーワード	SDGs (持続可能な開発目標)



参加想定者	SDGsについて基礎的な知識を得たい方
会場	様似中学校 教室
企画・運営	環境省北海道環境パートナーシップオフィス、北海道地方 ESD 活動支援センター
定員	40人
概要	<p>本分科会では、ジオパーク活動と、2030年の達成をめざす世界共通の目標、SDGs（持続可能な開発目標）の関わりを、参加者一人ひとりが見出すことをねらいとします。1日目は一般社団法人イマココラボが開発したカードゲーム「2030 SDGs」の参加をとおして、環境と社会と経済、私たち一人ひとりと世界のつながりを体感します。2日目は、SDGsの背景や考え方を詳しく学び、ジオパーク活動と持続可能な社会の関わり、SDGsの活用方策について、参加者同士で意見交換を行います。</p> <p>2030 SDGs ファシリテーター：黒井理恵氏（株式会社 DKdo）</p> <p>【10月6日（土）】</p> <p>14:00～14:10 開始・趣旨説明 14:10～14:30 SDGs 及びカードゲーム「2030 SDGs」説明 14:30～15:50 カードゲーム「2030 SDGs」実践 15:50～16:00 2日目アナウンス</p> <p>【10月7日（日）】</p> <p>9:30～10:30 SDGsに関する説明 10:30～10:45 コーヒーブレイク 10:45～11:30 グループディスカッション ・ジオパーク活動と持続可能な社会づくり ・SDGsの活用方策等 11:30～12:00 全体での意見交換・総括 12:00～12:30 昼食（分科会会場でお弁当）</p>

4 申込方法・期限

（1）方法

全国大会アポイ岳大会ウェブサイト（<http://www.apoi-geopark.jp/9thjgnzenkoku/>）からダウンロードする全国大会参加登録申込様式（Excel形式）ファイル内にある参加者情報シートの分科会項目欄において、参加を希望する分科会を選んでください。



(2) 期限

平成 30 年 8 月 31 日 (金) 18:00 まで

(3) 様式送付先

日交ハイヤー(株) 日交旅行サービス

第 9 回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳 (北海道様似町) 大会 申込受付係

【E-Mail】 entry9thjgnconference@gmail.com

または【FAX】 0146-22-0275

※ 宿泊、シャトルバス、プレ・ポストジオツアー等と同時の申込みになります。

※ なお、分科会の内容に係るお問い合わせは、全国大会実行委員会事務局 (様似町商工観光課) までお願いいたします。

【E-mail】 apoi.geopark@samani.jp

【TEL】 0146-36-2120 【FAX】 0146-36-2662